

## NEWS RELEASE

2015年1月26日

株式会社 MCA

新刊のご案内

## SDNの動向と関連市場における主要プレイヤーの戦略に関する調査 2015

～ネットワークの仮想化とオープン化で生まれる新たな競争市場～

移動体通信・IT専門の調査会社である株式会社エムシーエイ(所在地:東京都千代田区飯田橋 1-8-8 代表:天野浩徳 TEL:03-6261-2571 <http://www.mca.co.jp/>)では、1月26日に調査レポート「SDNの動向と関連市場における主要プレイヤーの戦略に関する調査 2015～ネットワークの仮想化とオープン化で生まれる新たな競争市場」(価格:200,000円/税別)を発刊しました。

SDN (Software Defined Networking) というワードが ICT 業界で頻出するようになったのが 2012 年ころからである。当初は話題先行型の市場と見られていたが、データセンターなどのクラウド事業者をはじめ企業などのエンタープライズ系への導入実例が出てきたことで SDN は実態性のある市場へと成長しつつある。

SDN とはネットワーク機器内に統合されていたパケット伝送機能と経路制御機能を分離し、ソフトウェアからネットワーク全体を集中制御しようとするものである。

これまでのネットワークは、例えばネットワークにサーバを追加する、あるいは1つのネットワークを複数に分割するには、物理的にケーブルの接続をやり直したり、ルータやスイッチごとにネットワーク管理者が設定をしたりしなければならなかった。

しかしネットワーク上に仮想サーバが多数存在するようになり、しかもそれが動的に生成、消滅するようになると、ネットワーク管理者がネットワーク機器をそのたびに設定しなければならないのでは実用的な運用を行うことは難しくなっていた。

SDN が急速に注目されたのは、このような状況を打破するための有力な手段として、ネットワークの構成や機能をソフトウェアだけで設定できるようにすることを目指したコンセプトを提示したからである。

SDN によるネットワークの仮想化が、おもに設定や運用管理における既存のネットワークの課題を解決し、クラウドやサーバ仮想化などに対応するネットワーク仮想化を実現するものと位置づけられている。SDN の特徴は、ネットワーク機器の動作を外部プログラムから定義できるという点であり、そのメリットは、「柔軟性」と「プログラマブル」であるということに集約される。

SDN はデータセンターなどのクラウド事業者への導入が先行し、今は企業ネットワークの分野にも広がってきている。今後は広域ネットワーク対応の SDN 製品も充実してくると見られ、通信キャリアへの導入も視野に入ってきている。また、これらの特定分野に限らず、あらゆるネットワークが SDN 化していく可能性も指摘されている。

本調査資料は SDN の動向並びに主要プレイヤーの取り組みを調査するとともに、SDN 化で変化する ICT 業界の構造変化も含めて調査分析するものである。

■ 調査レポートのポイント

- ICT ベンダの SDN に対する取り組み
- SDN 市場の予測
  - ・DC/クラウド事業者市場
  - ・通信キャリア/サービスプロバイダ市場
  - ・企業ネットワーク市場
- ICT 関連市場における各種プレイヤーの市場構造俯瞰
- SDN 関連機器市場規模

■ 調査の対象

分類	調査対象
通信機器/ネットワーク機器ベンダ	エリクソン・ジャパン、ノキアソリューションズ&ネットワークス、華為技術日本、NEC、日本アルカテル・ルーセント、日立製作所、富士通、シスコシステムズ、ジュニパーネットワークス、
情報機器ベンダ	日本ヒューレット・パカード、日本 IBM
ソフトウェアベンダ	ヴァイテムウェア、シトリックス・システムズ・ジャパン

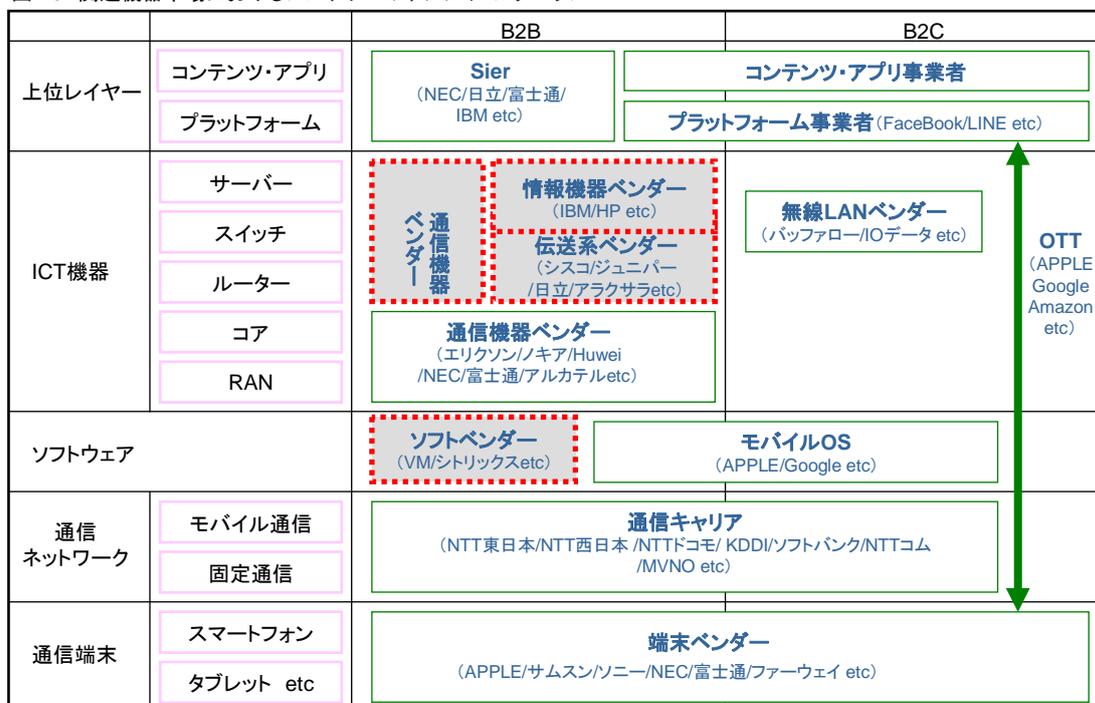
■ 調査結果抄録

1. 総括編



1.1. ICT関連機器市場におけるプレイヤー俯瞰図 SDN市場(キャリア/データセンター/エンタープライズ)への参入プレイヤー

図:ICT関連機器市場におけるプレイヤーのポジショニングマップ





## 2. SDN市場編

### 2.1. SDNの動向

#### 2.1.4. SDN関連市場

##### ターゲット別SDN市場

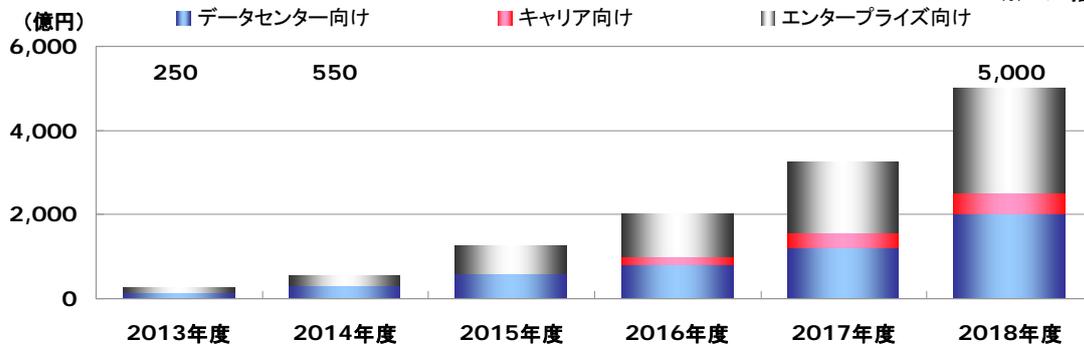
- ◆SDNの三大市場：データセンター/クラウド・通信キャリアネットワーク・エンタープライズネットワーク
- ◆キャリア市場の立ち上がりは2016年
- ◆最も成長率が高いエンタープライズ市場。4年後には2014年の10倍に

SDNの導入は当初、大規模なデータセンターやクラウドを展開する事業者が先行した。この分野はクラウドサービスを提供するうえで迅速なネットワーク構成の変更や運用の自動化などが求められており、SDN導入の比較的明確な動機付けがあった。またサーバの仮想化が進んだことから物理的にVLAN数が足りないということもある。

通信キャリア向けはまだ実際の事例は少なく、キャリア・ベンダーともコンセプトを検証している段階といえる。キャリア市場が本格的に立ち上がるのは2016年ごろと予測されるが、当初は限定したサービスなどへの採用に留まるものと思われる。エンタープライズ市場は2014年辺りから、既存のネットワーク資産を生かしながら導入できる方法などが提案され、企業にも導入しやすい環境が整いつつあり、今後はエンタープライズ市場も大きく立ち上がってくるものと予測される。

図：ターゲット別SDNサービス市場規模推移と予測（2013～2018年度）

※MCA推定。

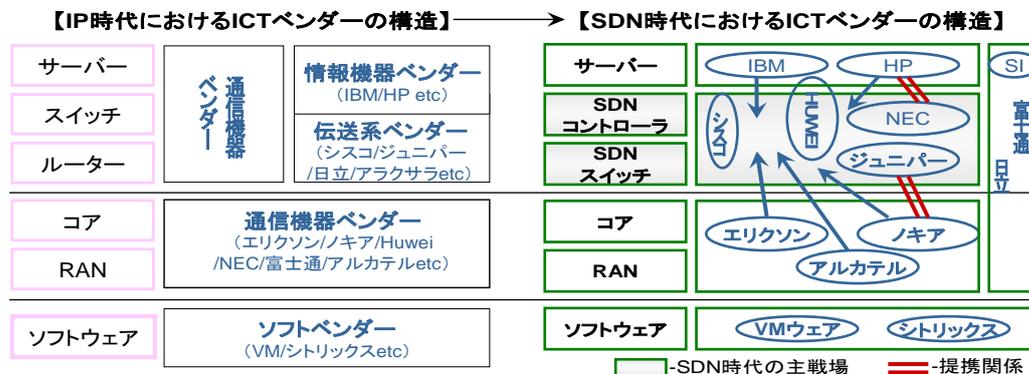


## 2. SDN市場編

### 2.1. SDNの動向

#### 2.1.5. SDNによる市場構造の変化

- ◆通信機器のシンプル化 (SDNスイッチ・SDNコントローラ)
- ◆既存通信市場秩序の崩壊
- ◆協業関係を結び事業拡大





## 2. SDN市場編

### 2.3. SDN関連機器市場規模

#### 2.3.2. SDNスイッチ/SDNコントローラ市場規模推移

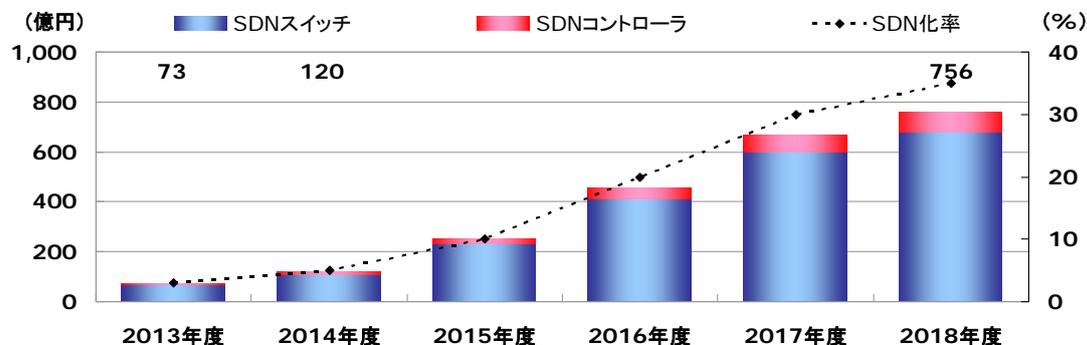
- ◆ネットワークの仮想化が進展
- ◆SDNスイッチ・コントローラ機器市場は2015年に250億円、2017年に670億円市場に
- ◆2017年にはルータ/スイッチ市場の30%がSDNに

SDN関連機器市場は2012年ごろから立ち上がり始め、2013年には73億円の市場を形成した。キャリアやエンタープライズ分野での投資の抑制からルータ/スイッチ市場自体は減少傾向にあるが、SDNスイッチの市場はまだ小さいものの、今後は大きく成長していくものと想定される。情報システム側ではサーバーやストレージの仮想化が進んでおり、仮想化が進んだ状況で複数のネットワークを運用するのは付加が大きい。そこでネットワークの仮想化も課題となっている。

このような背景から各種ネットワークのSDN化は進展して行くものと思われ、2015年には250億円2017年には670億円の市場に成長しこの時点でルータ/スイッチ市場の30%がSDNになっているものと推定される。

図：SDNスイッチ/SDNコントローラ市場規模推移と予測（2013～2018年度）

※MCA推定。



45

## ■調査レポートの主な目次

### 1. 総括編

- 1.1. ICT 関連機器市場におけるプレイヤー俯瞰図
- 1.2. SDN の動向
- 1.3. SDN の構築ステップと実現への課題
- 1.4. 主要ベンダの SDN への対応

### 2. SDN 市場編

#### 2.1. SDN の動向

- 2.1.1. SDN が注目される背景
- 2.1.2. SDN 標準化動向
- 2.1.3. SDN の特長
- 2.1.4. SDN 関連市場
  - 2.1.4.1. DC/クラウド事業者市場
  - 2.1.4.2. 通信キャリア市場
  - 2.1.4.3. 企業ネットワーク市場
- 2.1.5. SDN による市場構造の変化
- 2.1.6. SDN によるネットワーク市場の変化(運用管理自動化)

#### 2.2. SDN のロードマップ

- 2.3. SDN 関連機器市場規模
  - 2.3.1. ルータ/スイッチの市場規模推移
  - 2.3.2. SDN スイッチ/SDN コントローラ市場規模推移
  - 2.3.3. SDN 方式別市場規模推移
  - 2.3.4. SDN 導入のコスト削減試算
- 2.4. SDN 導入のコスト削減試算
- 3. ベンダ編
  - 3.1. 企業概要
  - 3.2. SDN に対する基本的スタンスと考え方
  - 3.3. SDN 市場に対する取り組み
    - 3.3.1. ハードウェア市場
    - 3.3.2. ソフトウェア市場
  - 3.4. SDN 対応製品群
  - 3.5. SDN ターゲット市場
    - 3.5.1. DC/クラウド市場
    - 3.5.2. 通信キャリア市場
    - 3.5.3. 企業ネットワーク

#### ■ 調査レポートの詳細

発行日：2015年1月25日  
判型：PDF ファイル（A4 版 136 頁）  
発行・販売：株式会社 MCA

#### ■ 頒価：216,000 円（税込）

調査期間：2014年11月～2015年1月  
販売方法：印刷レポート& PDF ファイル

#### ■ 株式会社 MCA (MCAInc.)の会社概要

設立時期：1993年12月1日  
代表者：代表取締役 天野浩徳  
資本金：1,000 万円  
所在地：〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-8-8 ASK ビル 5F  
事業内容：通信分野に関するコンサルティングやマーケティング事業  
・カスタムプロジェクト（受託調査）業務  
・IT Forecast report（モバイル／IT 調査レポート）の企画／制作／販売業務

#### ■ 本件リリースに関するお問い合わせ

株式会社 MCA (<http://www.mca.co.jp/>)  
E-Mail：[info@mca.co.jp](mailto:info@mca.co.jp)  
TEL：03-6261-2571  
FAX：03-6261-2572